ザーラ・イマーエワ

（チェチェン共和国・元外務省報道官、元文化省映画担当次官／戦争難民／

ジャーナリスト／映像作家／アートセラピーセンターＤｉＤｉインターナショナル主宰）

Speaking Tour in Japan

2013 年 2 月 23 日～4月 23 日

［企画趣旨］

3・11 以降、
日本を襲った根本的な価値観の揺れは、
いまだ収まることなく、私たちを揺さぶりつづけています。
震災があらわにした東北地方の日本における地政学的位置づけ。
原発事故によって無数の人々が失郷するという「ディアスポラ」的状況。
地震、津波といった凄まじい災厄による生々しい死の風景、
肉親との別離、故郷の喪失が引き起こすトラウマの問題。
深刻な問題と反対の声に直面しながらも「やめることのできない原発」に
内在する構造的問題と「戦争の経済」の問題の見えないリンク。

現在の日本にとって極めて具体的であり、かつ普遍的な問題である
「ディアスポラ（離散）」「トラウマ」「再生のための癒し」「非戦の思考」。

これらの諸問題をめぐって、
「ディアスポラ＝民族離散」と「戦争の災厄」という悲惨な現実を闘い、
生き抜いてきた当事者であり、卓越した表現者であり、アートセラピー実践者であり、
その活動を通して広く世にメッセージを送り続けてきた
ザーラ・イマーエワを迎えて、
いま、あらためて、この日本で、多くの方々と語り結ぶ場を設けたいと考えています。

まずは 2013 年 2 月 23 日。
この日から２か月にわたって行われる
ザーラ・イマーエワの Speaking Tour in Japan の出発点と我らの課題、旅の展望を
広く、深く、共に語り合い確かめあう場を設けたいと思います。

（※2・23 とは、1944 年に、ソ連によってチェチェン人 25 万人の強制移住が行われた日）

『ディアスポラ（離散）／トラウマ／アート』

～2・23 から３・11 へ　災厄から再生へ　語り結ぶ旅～

ザーラ・イマーエワ　Speaking Tour in Japan　　Vol.1

日時：2013 年 2 月 23 日（土）　14 時開始　（～17 時終了予定）
場所：大妻女子大学千代田キャンパス　大学校舎Ａ棟３６６号教室
（ＪＲ・地下鉄市ヶ谷駅から徒歩 10 分、地下鉄半蔵門駅から徒歩５分・九段下駅から徒歩 12 分）

主催：大妻女子大学／チェチェン連絡会議
大妻女子大学　人間生活文化研究所　共同研究プロジェクト（054）
「子どもと女性の暴力被害者を支援する専門職、育成のための e-ラーニング開発研究」
入場無料　カンパ大歓迎　配布資料 500 円　２次会：大妻大アトリウムカフェ　1500 円
できるだけ参加希望を info@chechen.jpn.org にご連絡下さい。２次会参加は、要予約です。

●はじめに　「2・23 から３・11 へ」　姜信子（作家・全体進行担当）（14：00～14：10）

●講演：「ディアスポラ／トラウマ／アート ～災厄から再生へ～」　(14：15～15：00)
講師：米田綱路（よねだ・こうじ）氏　　ジャーナリスト

１９６９年奈良県生まれ。新聞社、出版社をへて週刊書評紙図書新聞に入社。編集長をへて、現在は同紙スタッフライターを務める。
『モスクワの孤独――「雪どけ」からプーチン時代のインテリゲンツィア』でサントリー学芸賞受賞。そのほか著書に『脱ニッポン記――反照する精神のトポス』（上・下）、『ジャーナリズム考』、
編著に『はじまりはいつも本――書評的対話』、『抵抗者たち――証言・戦後史の現場から』など。

●映画上映：『いって・らっしゃい』（2012 年　ザーラ・イマーエワ/　岡田一男）

在日韓国人作家　姜信子と、亡命チェチェン人女性ジャーナリスト　ザーラ・イマーエワは、カザフスタンへの対話の旅に出る。そこはかつて二つの民族が出会った追放の荒野。1937 年、ロシア極東のコリアン＝高麗人 19 万人が日本への加担を疑われ、また 1944 年には、北カフカスのチェチェン人がドイツ への加担という濡れ衣で、カザフスタンに追放されたのだ。　いま、記憶の中に希望を探る旅が始まる

（15：10～16：05）

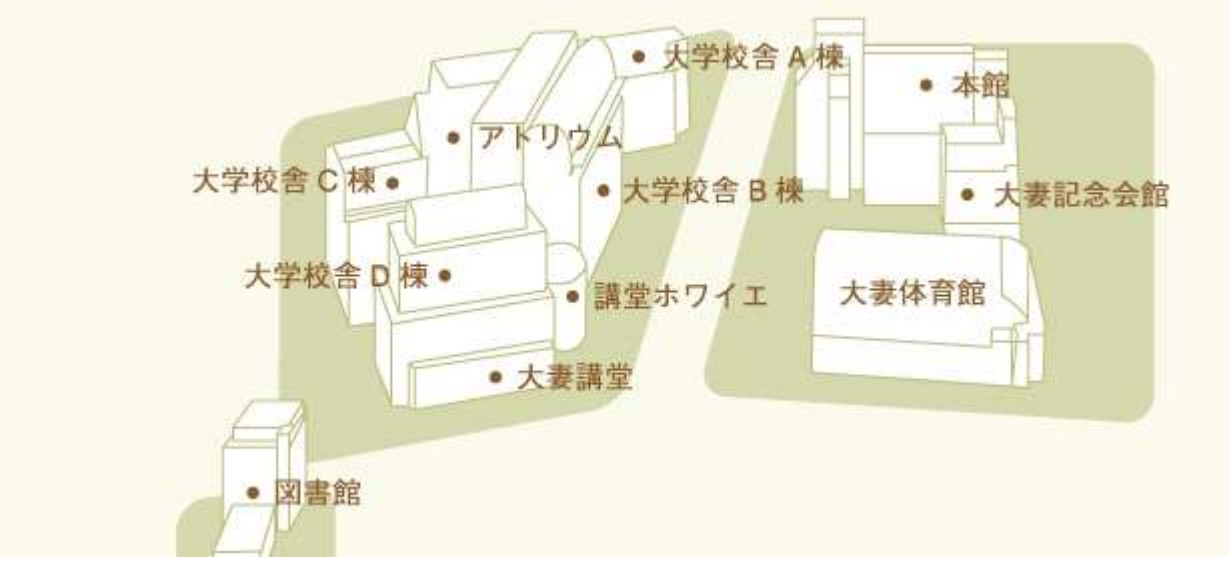
●ザーラ・イマーエワに聞く　「戦争／子ども／セラピー」　(16：15～16：50)
聞き手：鄭暎恵（チョン・ヨンヘ）

1960 年三河島（東京都）生まれ。1952 年サンフランシスコ講和条約発効時に、日本政府が旧植民地出身者から日本国籍をはく奪したが、1965 年日韓条約以前の生まれであるため、出生時の「正式な」国籍は不明。現在、大妻女子大学人間関係学部社会学専攻教員。担当科目は「アイデンティティ論」「ジェンダー論」「エスニシティ論」。

最新情報は チェチェン連絡会議公式ホームページ　http:// http://chechen.jpn.org/を参照ください。

大妻女子大学千代田校舎　A棟３６６号教室　へのアクセス

一番最寄りの東京メトロ**「半蔵門」**駅の九段下寄り出口を出ると、大妻通りです。大妻女子大へは、出口の左手、北に向かって、ゆるい坂を上って、また降りる感じです。
大妻女子大千代田キャンパスは、次の坂の斜面にあります。道の交差点にある大妻講堂は、坂下になります。
今回のイベントの行われる大学校舎Ａ棟は、一番北側に位置しています。
大妻通りの坂を、さらに靖国神社の方に上って、左側の路地を入ると、左手がＡ棟で、こちらの入口は、３階にあたります。玄関を入ってすぐ左手奥に３６６号教室があります。



JR**「市ケ谷」**駅から徒歩で来られる場合は、靖国通りを靖国神社方向に向かってください。神社と反対の道の右側を進んでください。麹町郵便局を過ぎ、銀泉九段南ビルと第二稲穂ビルの間の路地を右に入ります。三つ目の四辻の右手が、東京家政学院です。この辻を横切って、家政学院校舎を右に見て路地を直進すると道は鍵の手状に左に曲がります。その右手に、大妻女子大、大学校舎Ａ棟とその玄関（３F）が、あります。

東京メトロ・都営地下鉄**「九段下」**駅から来られる方は、２番出口（日本武道館方面）をでると、九段坂の途中です。坂を上って、道を隔てた靖国神社の反対側、靖国通りの左側を市ケ谷駅方向に歩いてください。やがて、大妻通りがありますので、左に曲がってください。変形四辻の向かい両側が、大妻女子大のキャンパスということになります。坂を下りないで、路地を右手に曲がります。左手が大学校舎Ａ棟です。